

加工食品事業におけるサステナビリティ

注力分野	目指す姿	中期取り組み目標 (KPI)	関連するSDGs
お客様の期待を上回る 製品・サービスの提供	私たちは、品質と技術に拘った製品を通じてお客様ニーズに応え続け、満足と信頼を獲得します。	Quality of Life(QOL)の向上 多様化するお客様のニーズを捉え、“健康”“利便性”“多様性”などを追求した、付加価値の高い製品の開発、提供を目指します。	
人財への投資	私たちは、従業員が安心して働ける職場づくりに取り組み、企業価値の向上に寄与する人財の継続的な育成に努めます。	働きがいの向上 やりがいを感じられる、働きやすい職場づくりや人財育成強化を推進することで、従業員の更なる働きがいの向上を目指します。	
		ゼロ労災 労働災害ゼロを目指し、労働災害率を2025年までに25%、2030年までに50%削減します。(基準年：2018年)	
		地域社会への貢献* 包摂的かつ持続可能な地域社会の発展を目指し2015年から2030年の間に、600億円の投資を行い、従業員が30万時間のボランティア活動に従事することを目指します。	  
持続可能な サプライチェーンの構築	私たちは、環境・社会面でのリスク低減に取り組み、お客様に安全で安心いただける製品を継続的にお届けします。	安心で信頼できる企業ブランドの醸成 国際規格の食品安全マネジメントシステムの運用徹底等の安全管理を推進し、食の安全性の向上を図るとともに、品質に関するコミュニケーションを充実させ、お客様の安心感と信頼感の向上に繋がります。	
		環境配慮型包材活用の推進 製品を通じた環境負荷の軽減を目指し、枯渇性資源を低減し、再生可能な植物由来の有機資源の活用を推進します。	  
		廃棄物発生量 廃棄物発生量を、毎年、生産量原単位で前年度を基準とし年平均1%削減します。(国内事業所) ※原単位=廃棄物発生量/生産量	
		温室効果ガス排出量 2030年までに事業活動由来の温室効果ガス排出量を2015年比28%削減します。	

*「地域社会への貢献」における目標はグループ全体の目標